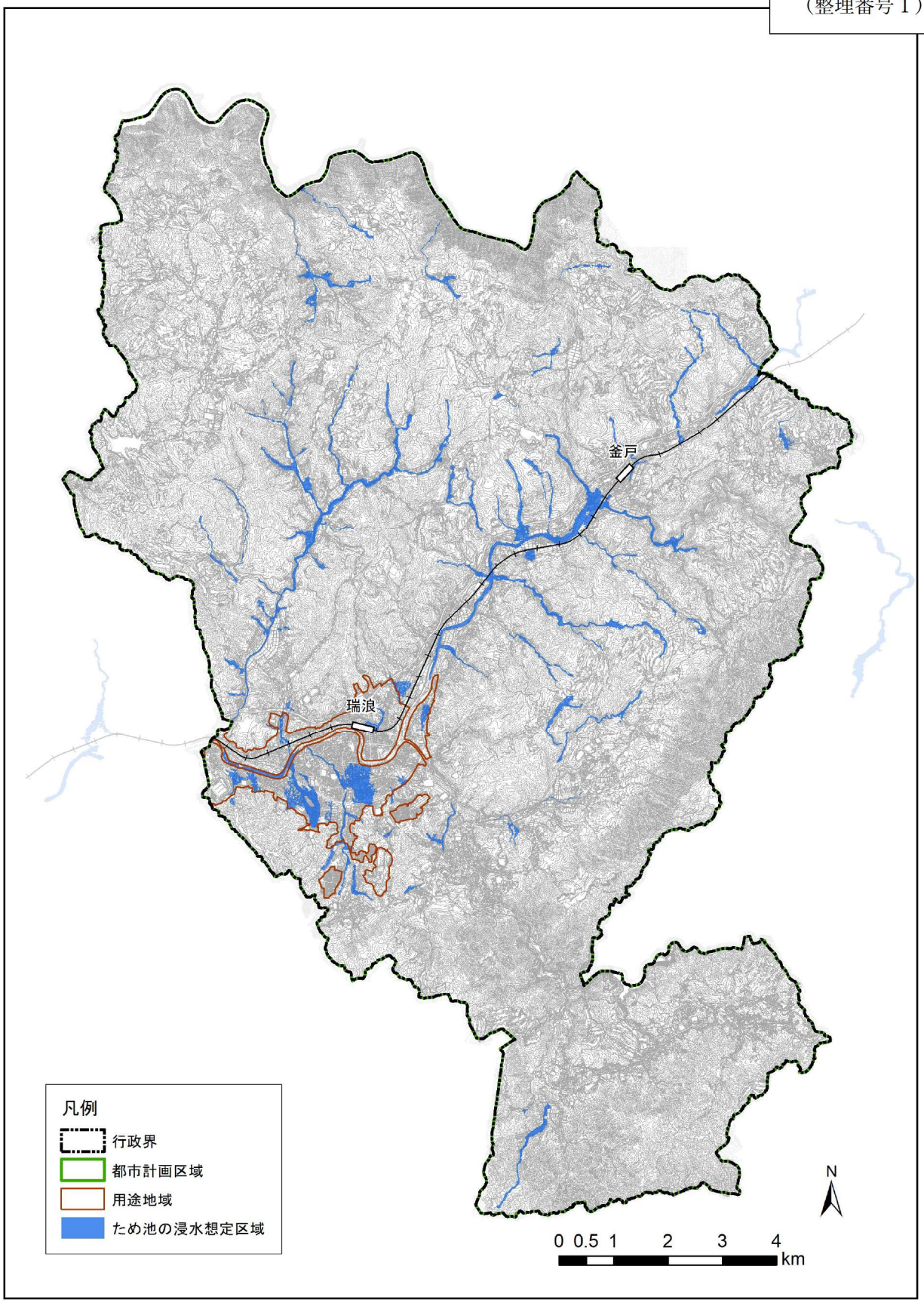
資料２

令和8年度第1回都市計画審議会における指摘･回答

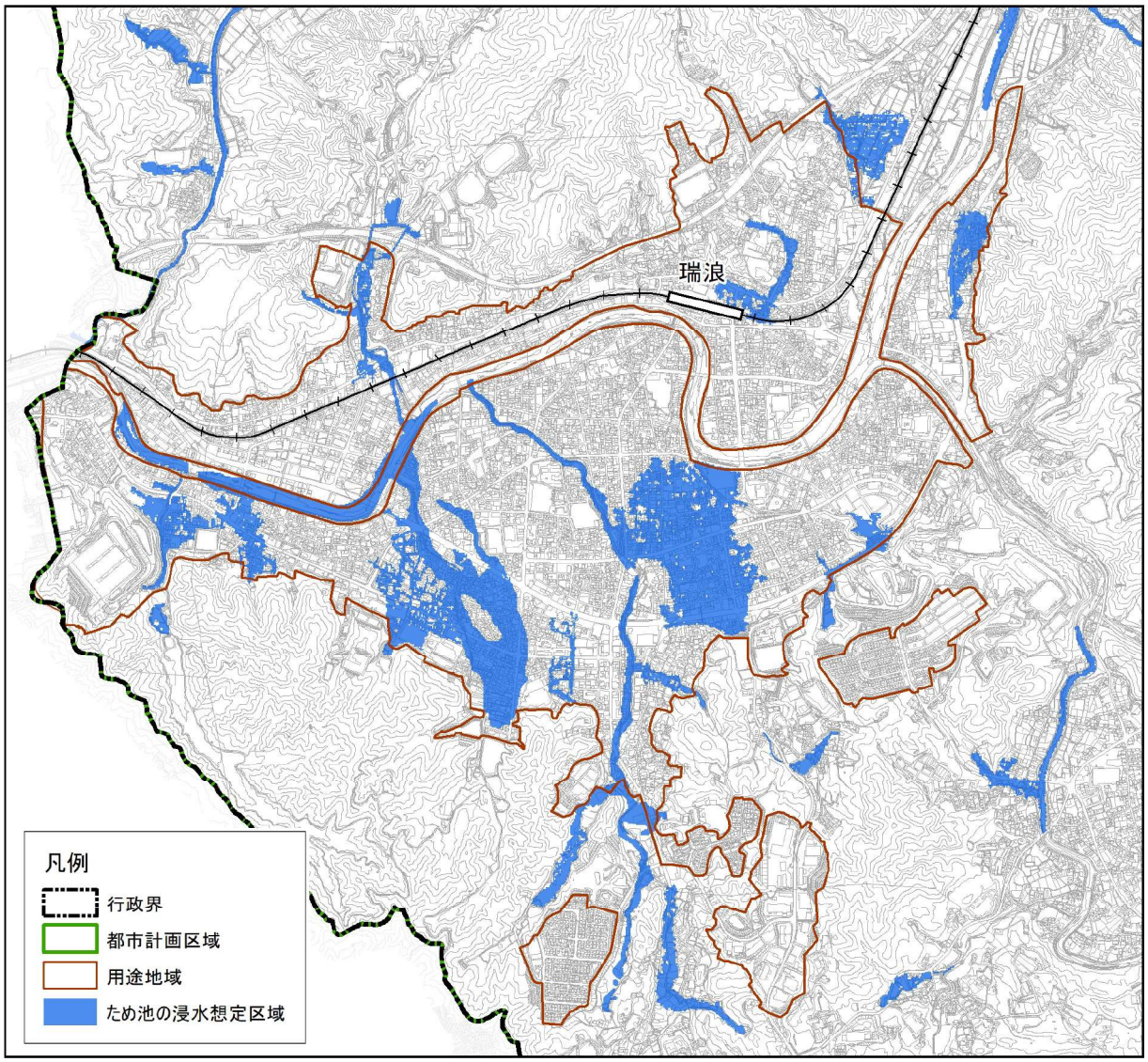
整理番号	意見等の項目	意見等の内容	意見への対応方針・考え方
1	改定案６３ページ 農業用ため池による浸水想定区域の状況の浸水深について	データの不足により浸水深を入れられないのであれば、理由、注意書きを入れること。	一部のため池についてデータが無く、一様に浸水深を非表示としていますので、以下の注釈を記載します。 ※詳細な浸水深データが未整備の区域を含むため、本図では浸水深の表示を省略しています。
2	改定案９３ページ 浸水深３ｍ以上の区域に居住する人口の割合について	目標値を30%としているが、居住誘導地域として人を誘導し、人口割合を下げるのは矛盾するのではないか。 また、指標については人口割合ではなく、面積が適切ではないか。	指標を面積とすることは、現在、土岐川を管理する岐阜県において比較できる浸水想定区域の検討結果が無いため、浸水深３ｍ以上の面積の減少を目標とすることは困難です。 市としては、居住誘導区域内の浸水深３ｍ以上の区域への人口の流入を抑制していますので、現在の34.3%から30%以下となるよう目標値を設定しました。
3	改定案９６ページ 陶デマンド交通に関する目標値について	30%は現実的な数字ではないと思われる。	本目標値については、瑞浪市地域公共交通計画において、健全な公共交通運営の目標値として設定しています。当該計画においても、同目標値を踏襲していますので、今後も瑞浪市地域公共交通計画の改定等の動向を踏まえながら目標値を設定します。
4	改定案９６、９７ページ 交通に関する指標の見直しについて	出典を記載すること。 指標値が変わっているので、変更した理由を記載すること。	96ページに出典である　資料：瑞浪市地域公共交通計画　を追加しました。 97ページ　参考　に指標変更理由を記載しました。

資料２
（整理番号１）



※詳細な浸水深データが未整備の区域を含むため、本図では浸水深の表示を省略しています。

図 6-5　農業用ため池による浸水想定区域の状況



※詳細な浸水深データが未整備の区域を含むため、本図では浸水深の表示を省略しています。

図 6-6　農業用ため池による浸水想定区域の状況　用途地域拡大

分析の視点② 避難施設が活用できるか

河川及びため池による浸水想定区域

市内には、指定緊急避難場所が 27 箇所、指定避難所が 38 箇所、民間避難所が 14 箇所指定されています。

そのうち、河川による浸水想定区域内に位置する避難所は、3m以上の浸水想定区域には指定緊急避難場所が 5 箇所、指定避難所が 5 箇所含まれています。

ため池による浸水想定区域には、指定緊急避難場所 3 箇所、指定避難所 1 箇所が含まれています。

表 6-5 浸水深と避難施設の状況

浸水深	河川による浸水想定			ため池による浸水想定		
	指定緊急避難場所（箇所）	指定避難所（箇所）	民間避難所（箇所）	指定緊急避難場所（箇所）	指定避難所（箇所）	民間避難所（箇所）
3 m以上	5	5	0	3	1	0
1～3 m未満	2	3	0			
0.5～1 m未満	0	2	0			
0.5m未満	2	3	0			
浸水なし	18	25	14	24	37	14
合計	27	38	14	27	38	14

◆指定緊急避難場所
・災害から緊急的に避難する場所
・学校のグラウンドや公園などの野外公共施設を指定
◆指定避難所
・被災された方が一定期間滞在・避難生活を送るための施設
・コミュニティーセンターや学校などの公共施設を指定
◆民間避難所
・一時的な避難場所として、ゴルフ場等の民間施設で、災害時応援協定を締結している施設を指定

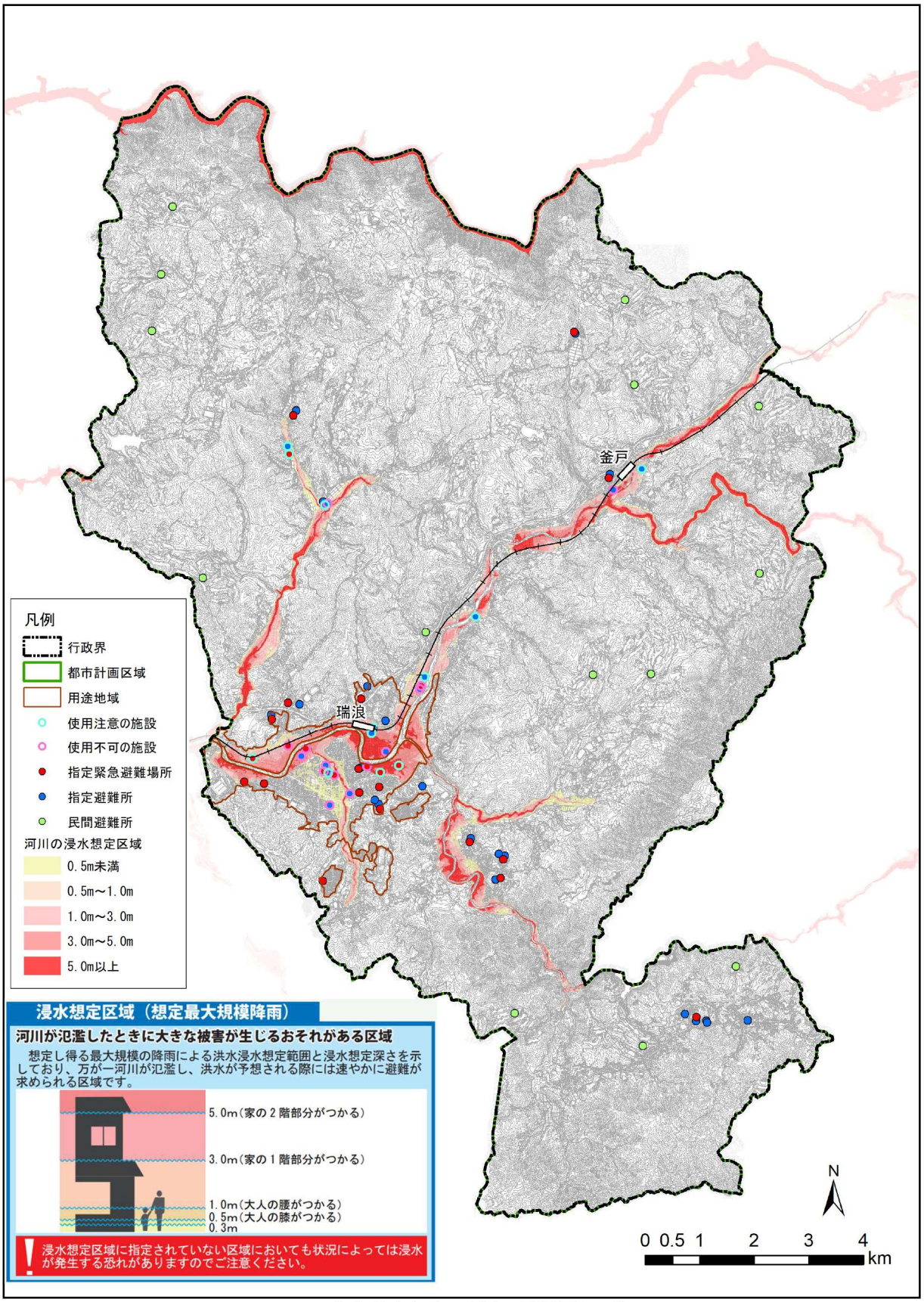
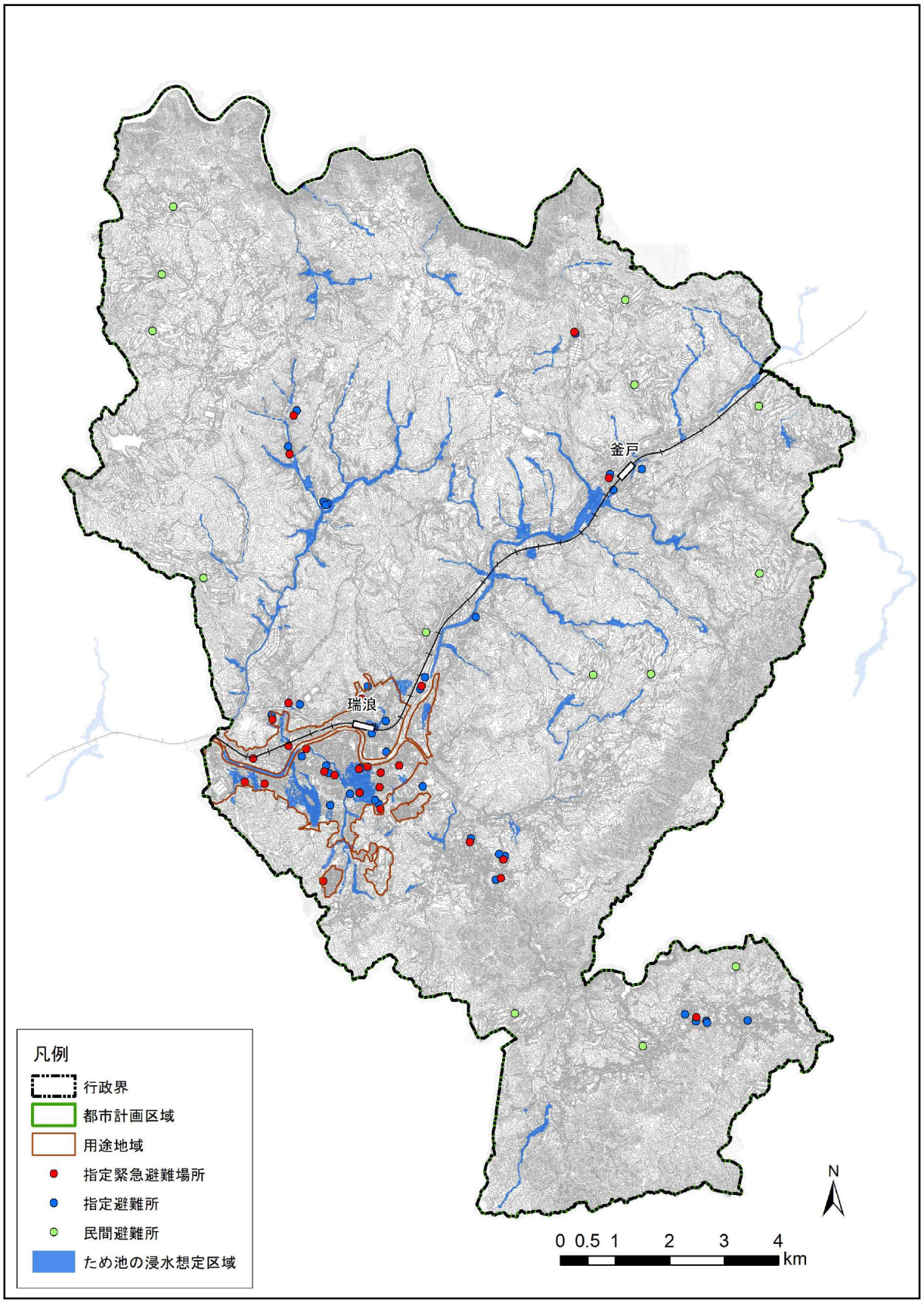


図 6-7　洪水浸水想定区域と避難施設の状況



※詳細な浸水深データが未整備の区域を含むため、本図では浸水深の表示を省略しています。

図 6-8　農業用ため池による浸水想定区域と避難施設の状況

資料２
（整理番号２）

（１）目標値の設定・評価

①目標値に対する評価

目標値は「居住」「都市機能」「交通」の３つの視点から設定しており、進捗状況は以下のとおりとなっています。「交通」の視点に関する目標を見直すとともに、新たに「防災」「財政」の視点から目標を設定しました。

表 7-1　各指標の進捗状況

	目標	指標の内容	基準値	中間評価値	目標値
居住	居住誘導区域の人口密度の維持	居住誘導区域内の人口密度	2015（H27） **34 人/ha**	2020（R2） **36 人/ha**	2035（R17） **34 人/ha**
都市機能	中心部の商店の活性化	従業員一人あたりの販売効率	2014（H26） **19 百万円/人**	2021（R3） **23 百万円/人**	2035（R17） **19 百万円/人**
交通	公共交通の利用	コミュニティバス、北部デマンド交通の人口千人あたりの年間利用回数	**利用回数**	2022（R4） **コミュニティバス** **1,743 回/千人** **北部デマンド交通** **53 回/千人**	2035（R17） **コミュニティバス** **1,743 回/千人** **北部デマンド交通** **53 回/千人**
		陶デマンド交通の計画運行回数に対する実績運行回数の運行割合	**運行割合**	2023（R5） **－**	2035（R17） **30%以上**
防災	災害リスクの回避	浸水深 3m 以上の区域に居住する人口の割合	**人口**	2020（R2） **34.3%**	2035（R17） **30%以下**
		土砂災害ハザード区域内の人口・建物割合	**人口**	2020（R2） **46.5%**	2035（R17） **40%以下**
			建物	2024（R6） **33.0%**	2035（R17） **30%以下**
財政	持続可能な行財政運営	財政力指数		2024（R6） **0.59**	2035（R17） **0.59 以上**

④【交通】公共交通の利用

地域の特性や住民ニーズにあった交通手段の確保に向けて、特にコミュニティバス、デマンド交通の活性化を目指し、「コミュニティバス、北部デマンド交通の人口千人あたりの年間利用回数」ならびに「陶デマンド交通の計画運行回数に対する実績運行回数の運行割合」を指標とします。

コミュニティバス、北部デマンド交通の人口千人あたりの年間利用回数は、瑞浪市地域公共交通計画における 2022 年度（令和 4 年度）時点のコミュニティバスが 1,743 回/千人、北部デマンド交通が 53 回/千人を基準とし、2028 年度（令和 10 年度）までその水準を維持することが目標とされています。本計画においてもこの目標値を踏襲し、2035 年度（令和 17 年度）まで維持することを目標として設定します。

また、陶デマンド交通の計画運行回数に対する実績運行回数の運行割合は、瑞浪市地域公共交通計画における「30％≦実績運行回数/（計画運行日数×３回）×100」を基準とし、2028 年度（令和 10 年度）においても 30％以上とすることが目標とされています。本計画においてもこの目標値を踏襲し、2035 年度（令和 17 年度）において運行割合 30％以上を目標として設定します。

公共交通の利用促進と地域特性に応じた利便性を向上させ、公共交通に対する満足度をあげていくために、市民・利用者等の多様な移動ニーズや利用実態を把握・評価しながら、瑞浪市地域公共交通計画に基づいたコミュニティバス・デマンド交通の再編、交通 DX などの取組を進め、これらの目標の達成を目指します。

表 7-4　交通に係る指標の基準値と目標値

	目標	指標の内容	基準値	目標値
交通	公共交通の利用	コミュニティバス、北部デマンド交通の人口千人あたりの年間利用回数	2022（R4） **コミュニティバス** **1,743 回/千人** **北部デマンド交通** **53 回/千人**	2035（R17） **コミュニティバス** **1,743 回/千人** **北部デマンド交通** **53 回/千人**
		陶デマンド交通の計画運行回数に対する実績運行回数の運行割合	2023（R5） **―**	2035（R17） **30％以上**

資料：瑞浪市地域公共交通計画

参考 交通に関する指標の見直しについて

これまでの瑞浪市地域公共交通計画では、以下のとおり「利用し易い公共交通の満足度」を指標としておりましたが、公共交通の満足度に関するアンケート結果は、市民の年齢構成の変化、新たな技術の導入などの社会情勢に大きく左右される側面があります。そのため、交通ネットワークの維持・強化を定量的に測る~~ため~~ことを目的に、表 7-5 から表 7-4 のとおり、指標の見直し~~を行いました~~が行われたため、瑞浪市立地適正化計画においても、同指標を設定します。

表 7-5　改定前の計画における交通に係る指標の基準値と実績値の比較

	目標	指標の内容	策定時	中間評価値	目標値
公共交通	公共交通の利活用	利用し易い公共交通の満足度	2013（H25） **41.4%**	2023（R5） **24.2%**	2035（R17） **54.3%**

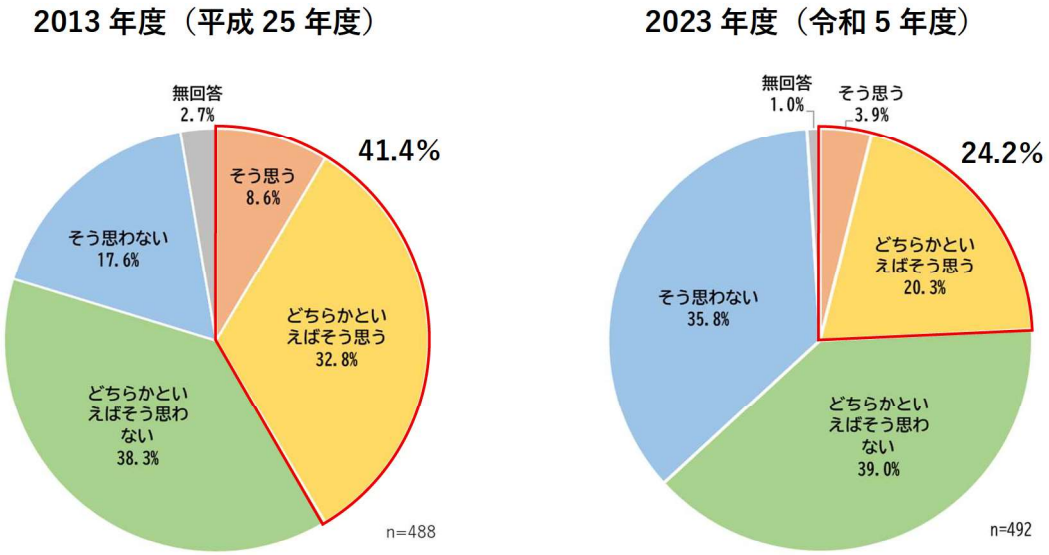


図 7-4　市民アンケート結果

【分析方法】

市民アンケート調査「瑞浪市は利用しやすい公共交通が整っているまちだと思いますか」における「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合